

猛暑の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。皆様はもう大阪万博に行かれましたでしょうか。私も家族と2回、嫁さんとだけで1回大阪万博に行きました。海外旅行に行ったと思い、万博会場ではアフリカ料理、UAEパビリオンやチェコパビリオン内のレストランなど変わった海外料理を堪能しております。アフリカ料理、UAE料理、チェコ料理どれも食べたことがなく、またとても変わった味付けの料理でしたがどれも凄く美味しく驚きました。エチオピアのコーヒービール、マダガスカルのパニラビール、チェコのビール、チェコワインなど飲み物も堪能しました。UAEレストランで飲んだデザートコーヒーはとても甘くて驚く飲み干すのに苦労しましたがそれもまた楽しい経験でした。またマルタ館で売られている有名なフティエラも買って食べましたがとても美味しかったです。大人気のアメ리카館、イタリア館、ヨルダン館にも行きました。イタリア館はミケランジェロの彫刻、2000年前の彫刻、有名な絵画「キリストの埋葬」、レオナルドダヴィンチの直筆スケッチなど、まさに国宝級と言える物が展示しており本当に凄かったです。また現在人気No1パビリオンとも言われるヨルダン館。ヨルダンの砂漠から持ってきた砂を敷き詰められており、砂漠の砂に座ってヨルダンの紹介VTRを鑑賞しました。また絶対に飲みたかったヨルダンコーヒーも飲みました。とてもスパイスが聞いて変わった味で美味しかったです。個人的にはアメ리카館は大したことがなかったと思いました。コモンズ館は5つあり、展示会場のような感じでたくさん国々がブース展示されています。予約なしで気軽に入れますし、多くの国々を知ることができるのでとてもお勧めです。コモンズ館Cの中にスロベニアがありました。人口200万人しかいないのに養蜂家が1万人以上も居て養蜂に力を入れることを知りました。何故スロベニアが養蜂に力を入れているかというと、地球上の70%の植物・作物はミツバチによる受粉だけに依存しており、ミツバチがいなくなると生態系が大きく狂い、食糧不足となり4年後には人類も絶滅するらしいです。都市養蜂にも力を入れており、またミツバチ観光(アピツーリズム)をやっている世界唯一の国です。また粗暴で知能が低いと言われていたネアンデルタール人の楽器もスロベニアで発見され、これがキックケとなり、ネアンデルタール人は芸術性に富んでいたと言われてるようです。また理系に進む女性が多く、スロベニアでの特許申請者の1/3が女性らしいです。更に小中高生の体育教育にも熱心で週4.5時間も体育の時間を設け、健康寿命延伸のため生涯スポーツの普及にも力を入れているそうです。また良質な温泉大国だそうです。スロベニアという国は正直どんな国か全く分かっていませんでしたが、スロベニアにいっぺん行ってみてアピツーリズムを体験したいと思いました。このように知らない国々について色々勉強できることも万博ならではの楽しみ方だと思います。まだ大阪万博に行かれていない方は是非とも行ってみてください。宜しくお願い致します。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第116号
2025年8月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

Tel. 072-855-1039(代表) / Fax. 072-855-1090(代表)

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3

東京営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439

島根よしか工場

〒699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市459番地1

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



Vol. 116

NEWS

01 関西最大のソサイチ大会「KT7」に共和ゴムFCが参戦します



【開催日】8/9予選リーグ、8/10決勝リーグ&トーナメント
【開催場所】ミズノスポーツプラザ京都伏見

当大会を当社も協賛企業として応援しております。

サッカー日本代表の森保監督の息子3人はじめ多数のサッカー系インフルエンサーが所属するFC LISEM、元フットサル日本代表や元フーガーで結成されたフットサルドリーム、関西最強のソサイチチーム・VOLVER OSAKAをスペシャルチームとして招待しており優勝賞金20万円を獲得するのはどこか。



共和ゴムFC 活動報告 vol.20

7/27(日) vs アミスターFC
尼崎スポーツの森



大学生主体のチームである相手チームとは4年連続リーグ戦で戦ってきました。

毎回いつも激闘を繰り広げており、試合ではバチバチと激しく当たり合い戦いますが、試合後はお互いの健闘を称えていつも和気あいあいとなれる良い関係を築いております。

そんな宿敵アミスターを相手に試合に挑みましたが、屋根なし屋外コートで猛暑という環境のなか、みんな動きがとて悪く、試合開始から若い相手チームの運動量に押され攻め込まれ先制点を許す。選手1人が熱中症で倒れるというアクシデントもあったが、失点后パスを繋いで攻撃を仕掛けるもゴールを決めきれず、逆に前半終了間際にカウンターを喰らい失点。前半を0-2で折り返す。2-3-1のフォーメン

ションを3-2-1に変更して後半に臨むも相手チームの若さと運動量に終始押され更に失点...

1-2-2-1というフォーメンションに切り替えパワープレーに切り替えたが、そもそもパワープレーは得意ではないので全然機能せず無得点のまま試合終了。

こんな猛暑のなか、運動量が落ちることがなく素晴らしい試合をした相手チームが本当に素晴らしかったです。やっぱり「若い」って羨ましいですね。

今回の敗戦で3位に転落。8月はリーグ戦中断期間ですが、8/9は猛暑のなか関西最大のソサイチ大会・KT7の予選に参戦します。

Sales Department



栃木事業所 所長
岡本 雄二

騒音・振動対策展へ出展いたしました。

栃木事業所の岡本です。

7/23~7/25に東京ビックサイトで行われた「騒音・振動対策展」へ2年連続で出展いたしました。

「騒音・振動対策展」とは、日本唯一の騒音および振動に特化した専門展示会であり、産業現場における健康と環境課題の解決を目的とした展示会です。2022年に環境省の騒音規制法が改正され、工場や建設現場などから発生する騒音への規制が強化されました。

それに伴い、各事業者の方の騒音対策への関心も高まっております。弊社でも近年、騒音や振動を低減させる製品開発に取り組んでおり、情報収集も含め出展致しました。

今回弊社が出展したのは、

- ・鉄と同程度の比重(比重7.5)の「超高比重ゴム」
 - ・吸音スポンジと遮音材の組合せの「共和フォーム」
 - ・機械等の振動が地面へ伝わるのを低減する「ビブラプレート」
- 以上の3製品です。

2024年出展の際、「がちりマンデー」で特集された効果もあり、

400人を超える多数の来場者の方にブースに訪れていただけました。

超高比重ゴムは「TVで見たけど、実際見てみるとすごい遮音効果だね」とお声がけいただいたり、お困りごとを具体的にご相談いただきました。

がちりマンデーをご覧になりたい方はU-NEXTの2024/10/6回で配信されております。

また、他の出展者様からもコラボ製品を作りたいなどのご意見もありました。

防振材に関しても、「体に感じない地面からの振動で従業員の健康被害を未然に防ぎたい」、「ご近所との振動のトラブルの対策をしたい」などのご意見も多数頂戴いたしました。

振動実験装置をブースに置き、実際にビブラプレートの防振性能を体験していただきました。



地面と機械の間に挟み込むだけで約20dBもの振動を低減させられることに皆さん驚いておられました。

本展示会を通じて、騒音・振動に対しての各社の取り組みや、抱えている悩みをいろいろと知ることができ、このような現場の声をもとに新製品開発のアイデアに生かしていきたいと思っております。

ホームページに詳細データを掲載しておりますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

次回の展示会は10/1、10/2新潟市産業振興センターで行われる「北陸建設フェア」で土木・建築関係の製品を展示致します。

共和ゴムスタッフ以外に新潟にゆかりのある謎のゲストも登場致しますのでお楽しみに！

共和ゴムブースでお待ちしておりますのでお時間のある方は是非お越しください。

